

平成 17 年度 第 10 回 規制改革・民間開放推進会議
会議終了後記者会見録

日時：平成 17 年 12 月 13 日（火）13:35～13:44

場所：永田町合同庁舎第 4 会議室

司会 それでは、お待たせいたしました。第 10 回「規制改革・民間開放推進会議」の記者会見を始めさせていただきます。

初めに、宮内議長お願いいたします。

宮内議長 ただいま、第 10 回の会議が終わりましたので、その模様を御報告申し上げたいと思います。

まず、私からちょうど 1 週間前に「経済財政諮問会議」に中馬大臣と出席してまいりました模様につきまして御報告をさせていただきました。当日は時間が十分取れませず、私からのプレゼンテーションが主だったわけでございますけれども、お聞き及びのとおりの模様でございました。資料もお手元にあるかと思えます。

あとは、内部の会議でございまして、今の予定では来週に答申をまとめるということになっておりまして、各府省との調整の最終段階に来ております。その最終段階、前回の会議から本日の間まで、どのような進展があったかということにつきまして、各担当分野毎に責任者である主査から御説明をいただいて、その検討状況について委員の皆様方で現況を共有すると同時に意見交換をしたということでございます。

これで最後でございましたら、その内容について御報告申し上げられるわけでございますが、あと 1 週間、これからまだぎりぎりの詰めに入るところでございますので、記者会見をしながらこんなことを申し上げるのも大変失礼でございますけれども、詳しい内容につきましては余り申し上げることができないということでございます。要は現在までの調整状況について報告があり、意見交換をしたということでございます。

あとは御質問にお答えする形で、できます範囲内でお答えさせていただきたいと思えます。

司会 それでは、御質問のある方は、御自身の所属とお名前からお願いいたします。

御質問、ございませんでしょうか。

どうぞ。

記者 これまでの各府省との協議で、既に折り合ったといえますか、ある程度までこぎつけたものというのはどのくらいあるんでしょうか。具体的に内容まで決まったものがあれば、御披露いただければと思います。

宮内議長 我々が、個別の案件として一番大きいと思っておりますのは、やはり「市場化テスト」というものでございますけれども「市場化テスト」はやはり法案作りと、それから、とりあえず法案ができましたら、すぐに取り上げられる案件と、この 2 つのものを今は調整しているわけでありまして。この両方がないと法案にならないという仕組みのよう

でございます、法案作りにつきましては、これは総理を始め諮問会議の御支援ということもありまして、担当の室ができて、そこで具体的に作業が始まっている状況です。

我々の答申といたしましては、法案へ何をどういう形で載せるかということにつきましては相当程度合意が進んでいるということですから、一番大きな柱は、順調にといいますが、「市場化テスト法案」というのができる形で進んでいるというふうに私は理解しております。

あと、個別の案件につきましては、実は進み具合が色々ありまして、この辺りでは動いたと言えるところと、なかなか、まだどこまでいけるか調整中というようなところがあります。それから、こつこつと少しずつ動かしていくような分野もあるわけで、色々です。それで、大きなところで言いますと、御承知のとおり、医療関係につきましては、例えば中医協の構成の問題、あるいはレセプトのオンライン化の問題という懸案のものがかなり前向きに動きつつあるというふうな認識をしております。

その他のところは、まだ途中経過です。量的には、どういうふうに表現したらいいか。司会 ほかにはございませんでしょうか。

どうぞ。

記者 懸案事項だと思いますが、農地の規制緩和の問題と、農協改革の問題はまだ調整が続くのでしょうか。見通しをお話しできるところまでお願いします。

宮内議長 農業につきましては、特にお話しすることはございません。

記者 といいますのは。

宮内議長 なかなか意見が一致しておりませんで、あと1週間頑張るということです。調整を続けないといけないと認識しております。そういう意味では、非常に大きな問題意識を持っています。

記者 それは農林水産省との調整がということで理解してよろしいのでしょうか。

宮内議長 そうです。

司会 ほかにはございませんでしょうか。

記者 放送分野ですけれども、本日どういう報告があったのかというのが御説明いただくと一番良いのですが、それと総務大臣の方で私的懇談会をつくって在り方を検討していくという話なんです、そこの関係で、総務大臣の方がどこまでやられるのかという問題があると思えますけれども、それを見ながら「規制改革・民間開放推進会議」の方はどの辺をねらっていかれるのかという、総務省との関係でお話しいただけないでしょうか。

宮内議長 最後は、大いに関係のあるのだらうと思えますけれども、私どもの方は「規制改革・民間開放推進会議」としてかねて主張している部分もありまして、今のところは我々のやり方で全体の答申をつくるというふうに思っております。最後は同じ道筋になるのかなとは思いますが。

記者 どこかで、相談とか協議とかはされますか。

宮内議長 将来はあるのかもわかりませんが、今のところ我々は答申の追い込みをして

いるところでは。

司会 ほかにはございませんでしょうか。

記者 薬業新聞ですが、昨年みたいに答申が2段階になるという可能性はあるのですか。

宮内議長 今のところは考えておりません。

司会 ほかにはございませんでしょうか。御質問よろしいですか。

それでは、これにて会見を終了いたします。ありがとうございました。